

**製品名: SQSTM1/p62 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab03719**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 62 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SQSTM1
別名	p60; p62; A170; DMRV; OSIL; PDB3; ZIP3; p62B; NADGP; FTDALS3
遺伝子 ID	8878
SwissProt ID	Q13501
免疫原	ヒト SQSTM1/p62 の組み換えタンパク質

**背景**

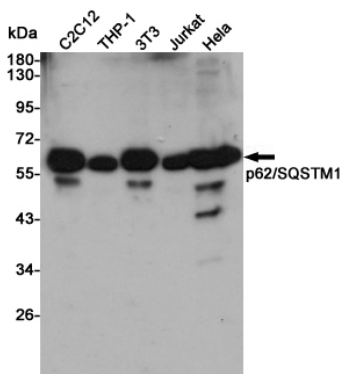
オートファジー受容体は、分解対象となる貨物と MAP1 LC3 ファミリーのオートファジー修飾因子の両方と直接相互作用しま

す。ALIS (アグリソーム様誘導構造) と呼ばれるポリユピキチン含有小体の形成とオートファジー分解の両方に必要であり、ALIS をオートファジー機構に連結します。ミッドボディリングの分解に関与しています。TNF- $\alpha$ 、神経成長因子 (NGF)、およびインターロイキン-1 による NFKB1 の活性化を制御する可能性があります。

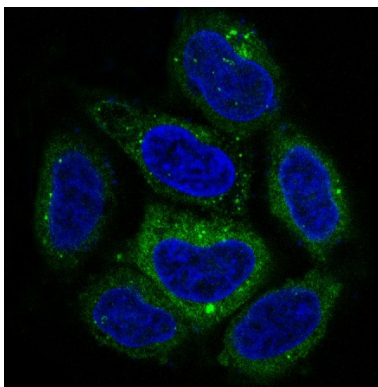
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



SQSTM1/p62 抗体を使用した C2C12、THP-1、3T3、Jurkat、および HeLa 溶解物中の p62/SQSTM1 のウエスタンブロット分析。



p62/SQSTM1 抗体を用いた HeLa の SQSTM1/p62 の免疫蛍光分析。